

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	夜・通信	630時間	160時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室にて閲覧

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務室にて閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	小学校校長	平成30年4月 ～令和2年3月	学校運営上の助言、 指導
非常勤	地方公務員	平成30年4月 ～令和2年3月	業務執行上の助言、 指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鳥取社会福祉専門学校（介護福祉科）
設置者名	学校法人小林学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担当教員等が前年度末までに授業計画(シラバス)を作成。 ・当該年度の授業初回に学生へ授業計画(シラバス)を配布し説明している。 																		
授業計画書の公表方法	事務室にて閲覧																	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生が授業科目を履修した場合には、試験のうえ合格した者に対して所定の単位を与える。</p> <p>試験は毎年2回学期の終わりに施行する。</p> <p>試験は授業時間数の3分の2以上出席して履修しなければ受けることはできない。(但し、介護実習は5分の4以上のこと)</p> <p>各科目の授業(講義・演習・実習)に出席し、試験及びそれに準ずるもの(課題・報告書・レポート等)により別表の基準により単位が取得できたか否かが決定される。</p> <p>評価においては、試験の成績の他、随時行われる臨時試験・平常の勉学態度などを考慮し、総合的に評価され、その結果が100点法で表される。</p> <p>こうして評点が60点以上であった場合、はじめて合格となり「優・良・可」とともに所定の単位数が取得できることになる。</p> <p>本校に2年以上在学し、所定の単位(80単位、1920時間)を取得した者には、卒業証書を授与する。</p> <p>(別表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">判定</th> <th colspan="3">合格</th> <th>不合格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">評価</td> <td>評点</td> <td>100~80</td> <td>79~70</td> <td>69~60</td> <td>59~</td> </tr> <tr> <td>評語</td> <td>優</td> <td>良</td> <td>可</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価は評点と評語で表す。</p>		判定		合格			不合格	評価	評点	100~80	79~70	69~60	59~	評語	優	良	可	不可
判定		合格			不合格													
評価	評点	100~80	79~70	69~60	59~													
	評語	優	良	可	不可													

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>今現在、GPA等の客観的な指標を設定し公表はしていない状況。 指標の算出方法は、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	事務室にて閲覧
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「教育基本法」及び「学校教育法」並びに「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき広く知識を広く知識を授けるとともに、良き社会人としての教養を高め、深く社会福祉分野とそれに関与する保健、医療の専門的知識と技能を養い、良き職業人としての実力の鍛成につとめ、社会福祉の進展に寄与する人材を育成することを目的とする。 80単位以上、(1920時間以上)の履修し、かつ、原則として(社)日本介護福祉士養成施設協会が実施する学力評価試験を2年時の総まとめとして、受験し合格しなければ卒業出来ない。 卒業判定会議にて最終判定を行い、卒業認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	事務室にて閲覧

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室にて閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務室にて閲覧
財産目録	事務室にて閲覧
事業報告書	事務室にて閲覧
監事による監査報告（書）	事務室にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間部	1920時間／80単位 単位時間／単位	660単位 時間/44 単位	720単位 時間/24 単位	540単位 時間/12 単位	0単位時 間/0単位	0単位時 間/0単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		43人	0人	5人	15人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- ・各担当教員等が前年度末までに授業計画（シラバス）を作成。
- ・当該年度の初回授業時に学生へ授業計画（シラバス）を配布し説明している。

成績評価の基準・方法

（概要）

各科目の授業（講義・演習・実習）に出席し、試験及びそれに準ずるもの（課題・報告書・レポート等）により別表の基準により単位が取得できたか否かが決定される。

評価においては、試験の成績の他、随時行われる臨時試験・平常の勉学態度などを考慮し、総合的に評価され、その結果が100点法で表される。

こうして評点が60点以上であった場合、はじめて合格となり「優・良・可」とともに所定の単位数が取得できることになる。

（別表）

判定		合格			不合格
評価	評点	100～80	79～70	69～60	59～
	評語	優	良	可	不可

※評価は評点と評語で表す。

卒業・進級の認定基準
(概要) 80 単位以上、(1920 時間以上) の履修し、かつ、原則として(社)日本介護福祉士養成施設協会が実施する学力評価試験を 2 年時の総まとめとして、受験し合格しなければ卒業出来ない。 卒業判定会議にて最終判定を行い、卒業認定している。
学修支援等
(概要) チューター制度(個別指導の教師)の導入により、担当教員によるきめ細やか個人指導を行い、より充実した支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22 人 (100%)	0 人 (0%)	22 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 老人福祉施設、介護老人保健施設、医療機関等			
(就職指導内容) 就職オリエンテーション、就職ガイダンス、三者面談を実施。 担当教員や就職担当による個別指導も行った。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士、レクリエーション・インストラクター			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	3 人	6.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) こまめな面談を実施し、学生の悩みや相談に応じるよう対応している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	200,000 円	560,000 円	282,610 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
ラ・メール修学生制度、介護等資格保有者入学奨励金制度、他大学・専門学校進路変更入学奨励金制度、兄弟姉妹 (親子) 入学奨励金制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて閲覧		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
保護者による学校教育活動および就職活動の取り組みの評価をし、意見などを取り入れて改善していく。教育環境および進路指導の整備について、保護者 8 人の委員に評価していただく。10 月に実施し、それを次年度に向けて学校長が改善を検討する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
	2 年 (平成 30 年 4 月 ～令和 2 年 3 月)	保護者
	”	保護者
	”	保護者
	”	保護者
	2 年 (平成 31 年 4 月 ～令和 3 年 3 月)	保護者
	”	保護者
	”	保護者
	”	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて閲覧		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.kaigosi.ac.jp/>